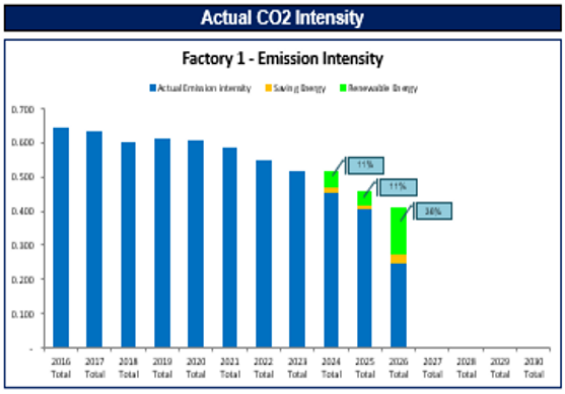
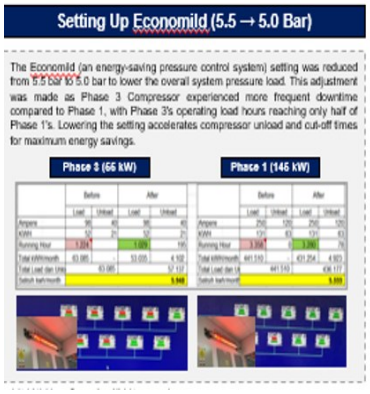
会議

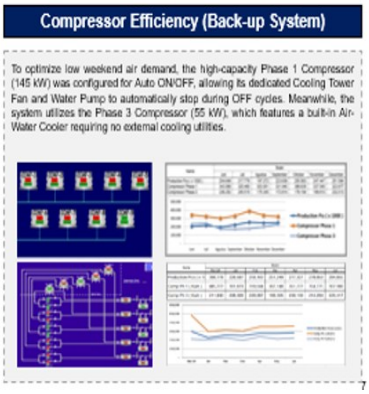
令和８年度 AJEEP CNプロジェクトフォローアップミーティング(インドネシア)を実施しました

【事業概要】 一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、資源エネルギー庁の委託を受けてASEAN多国間省エネ人材育成協力（AJEEP）の事業を実施しております。2025年度にインドネシアの衛生用品メーカー (UCI)においてスタートしたCNプロジェクトのフォローアップミーティングを9月2日にオンラインで実施し、中長期計画の進捗状況および課題について討議しました。



CO2 排出原単位（36%削減）





エアコンプレッサー元圧低減（5.5→5.0 Bar）

AJEEP活動の一環として、2025年度にUCIにおいてスタートしたCNプロジェクトのフォローアップミーティングを9月2日にオンラインで実施し、中長期計画の進捗状況および課題について討議しました。UCIでCN診断を実施した担当者からCNプロジェクトの進捗状況および現在の課題が説明されました。フォローアップミーティングは1年に1回の頻度で開催しており、今回はプロジェクトがスタートしてから初めてのミーティングに当たります。

(1) 2030年度のCNに向けた最終目標はNet Zeroと変わりません。
(2) 2026年度に達成したCO2排出原単位が0.249 tCO2/kg (－36%)に削減、省エネルギー量は2,827 tCo2e、再生可能エネルギーが11,949→14,108 tCO2eに増加しました。
(3) ECCJ提案のダクト断熱効果により、エアコン設定温度を22.5℃から23 ℃に増加しました。
(4) 運用改善のひとつであるエアコンプレッサー元圧の低減を実施しました。
(5) モーター冷却最適化については、室内の気圧を調整して電流負荷低減・過熱を防止する効果を確認しました。
(6) 2026年度後半の改善目標を継続中です。
(7) 2027年度の実施計画を準備しています。
(8) ECCJ提案の成層空調の内容については、日本企業からプレゼンを依頼しました。

本事業における2番目のCNプロジェクトですが、順調に進められていることを確認しました。今後ともUCI、MEMR、ACEとも良好な関係を継続し、CNプロジェクトの推進・日本企業への裨益に貢献していきます。

＊AJEEP：ASEAN－JAPAN Energy Efficiency Partnership
専門家派遣と受入研修を通じてASEAN地域の省エネ人材を育成するプログラム